

# 道路事業

## 一般国道121号 板橋バイパス

(平成25年3月 完成)

### 1. 事業概要

一般国道121号は、山形県米沢市を起点とし、本県北西部地域を縦貫し宇都宮市を通過して芳賀郡益子町に至る幹線道路であるとともに、広域的な交流や連携強化を支援する沿線の生活や経済を支える重要な路線である。

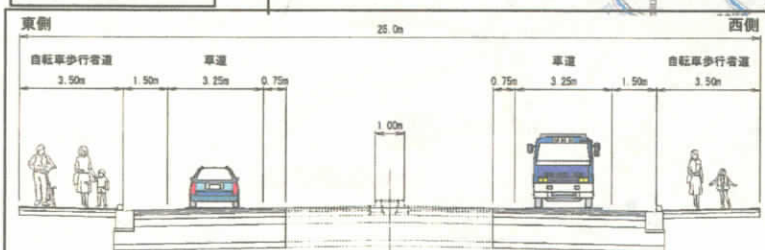
現道の例幣使街道は国の特別史跡・特別天然記念物に指定されている日光杉並木となっているが、幅員が狭小で屈曲部も多く歩道も未整備であるため交通の隘路となっており、特に観光シーズンにおける交通渋滞が発生していた。

このため、広域的な交流や地域連携強化及び安全で円滑な交通の確保、杉並木の保全推進を目的に、栃木県では平成3年度からバイパス整備に着手し、平成16年から順次部分供用を開始し、平成25年3月に全線供用（暫定2車線）を開始した。

#### 位置図



#### 【標準横断面図】



- ◆ 事業名 : 快適で安全な道づくり事業
- ◆ 事業主体 : 栃木県
- ◆ 事業箇所 : 一般国道121号板橋バイパス (日光市森友～日光市板橋)
- ◆ 全体延長 : 4,800m
- ◆ 主要構造物 : 土沢大橋 L=306.0m (JR日光線・日光宇都宮道路・一級河川田川を跨ぐ)
- ◆ 幅員 : 25m (暫定2車線 3.25m×2 自歩道 3.5m)
- ◆ 総事業費 : 約93.7億円
- ◆ 事業期間 : 平成3年度～平成24年度

### 2. 事業の目的・必要性

- ① 広域的な交流や地域連携の強化
- ② 安全で円滑な交通の確保
- ③ 例幣使街道の杉並木保全推進

### 3. 事業の整備効果等

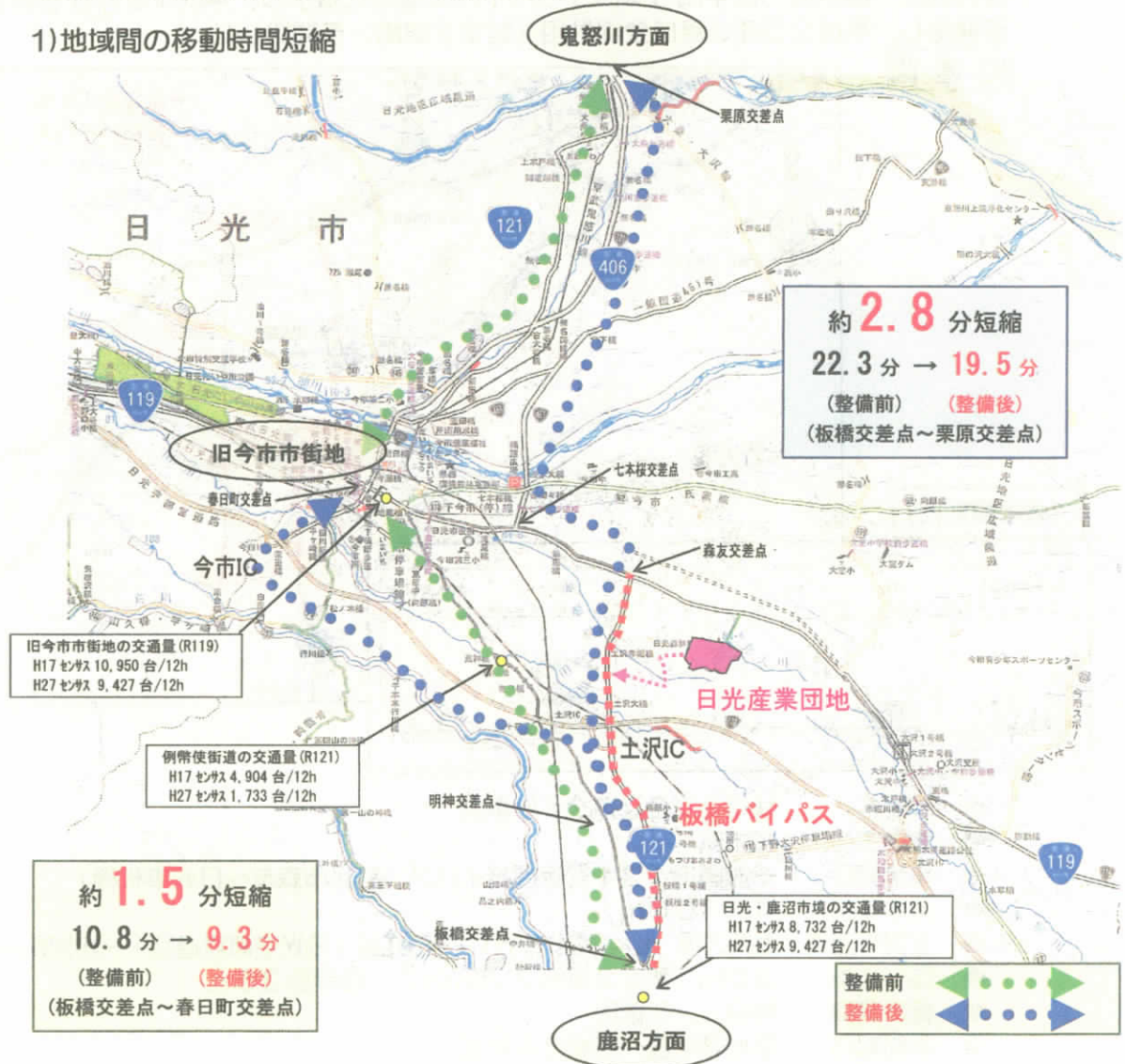
＜費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化＞

- 事業費：着手前 約80億円 完成時 約93.7億円  
(事業費増加の理由：土沢大橋基礎構造変更設計検討、軟弱地盤対策、交差点追加等による)
- 事業期間：着手前：平成3年度～平成12年度 完成時：平成3年度～平成24年度  
(事業期間延伸理由：相続未了や公図混乱等による用地取得の遅延)

#### ①広域的な交流や地域連携の強化

- 1)鹿沼方面と鬼怒川・今市地域間の移動時間が短縮し、県西部地域の連携が強化された。
- 2)日光市と鹿沼市の境では整備後に交通量が増加しており、広域的な交流が促進している。
- 3)移動時間の短縮や交通量の増加から、観光産業や地域振興に大きく寄与している。
- 4)板橋 BP と交差する日光宇都宮道路に設置された土沢 IC が本バイパスと接続したことにより、広域的なネットワークが形成された。

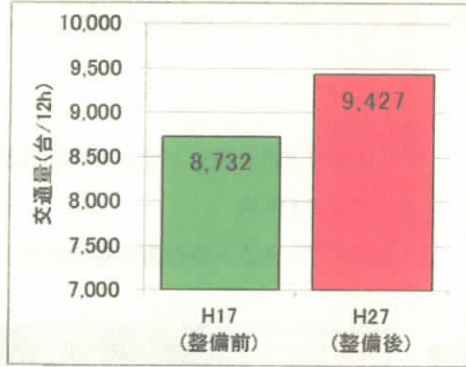
#### 1)地域間の移動時間短縮



※整備前  
平成22年道路交通センサスの混雑時平均旅行速度より算出

※整備後  
旅行速度調査(平成28年5月実施)と  
平成22年道路交通センサスの混雑時平均旅行速度より算出

## 2) 日光・鹿沼市境の交通量推移



※一般国道 121 号各年度の道路交通センサス 12 時間観測値

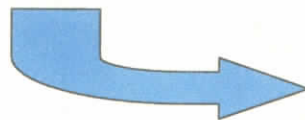
### ②安全で円滑な交通の確保

- 1) 現道から板橋バイパスに交通量が転換したことにより、現道の交通事故（人身事故）件数が減少したことから、地域間の安全性が向上している。
- 2) 鹿沼方面から鬼怒川方面を行来する車両は旧今市市街地経由から板橋バイパス経由に転換したため旧今市市街地の国道 119 号の交通量が減少したほか、現道(例幣使街道)から板橋バイパスに交通量が転換するなど渋滞緩和に寄与している。
- 3) 日光市消防本部へのヒアリングの結果、今市地域南部への平均現場到着時間が短縮したことから、救急救命時の初動時間が早まるなど、救急医療に貢献している。
- 4) 現道の日光杉並木街道をバイパスしたことにより、台風や強風による並木杉倒木が原因の通行止めのリスクが減少している。

現道(例幣使街道)



板橋バイパス



<写真 現道(例幣使街道)と板橋バイパスの比較>

#### 1) 交通事故件数：現道(例幣使街道)

(整備前) 2. 5 件/年 (平成 19 年～平成 24 年の年間平均件数)

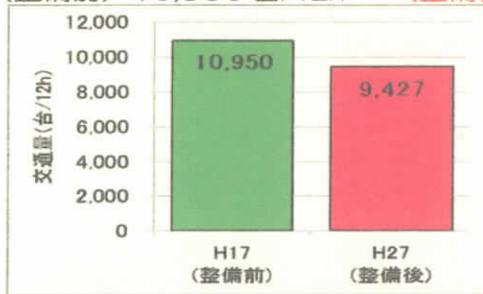


(整備後) 1. 0 件/年 (平成 25 年～平成 27 年の年間平均件数)

※「死傷事故発生箇所調査：栃木県警」より算出

2) 渋滞の緩和：旧今市市街地の交通量減少と現道(例幣使街道)の渋滞状況

(整備前) 10,950 台/12h → (整備後) 9,427 台/12h (約 1,500 台/12h 14%減)



※各年度の道路交通センサス 12 時間観測値

一般国道 119 号

(小倉町交差点～春日町交差点区間)



<写真 現道(例幣使街道)渋滞状況の変化>

3) 日光市消防本部ヒアリング調査結果：平成 28 年 4 月 20 日実施

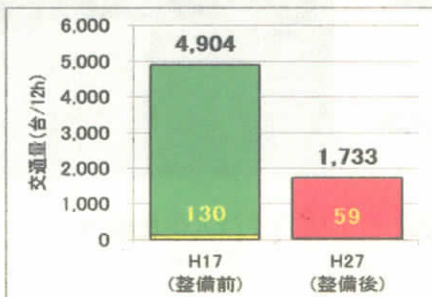
- ・ 落合、文挟方面への出動に以前は例幣使街道を利用していたが、現在は完全に板橋バイパスを利用する。
- ・ 消防車など大型車両が多いので、以前に比べて非常に走りやすくなった。
- ・ 記録していないが、現場までの所要時間は落合・文挟方面は明らかに短縮されたと感じる。
- ・ 宇都宮方面の病院へ救急搬送する場合に、以前は大沢 IC や今市 IC から高速道路(日光・宇都宮道路)を利用していたが、現在は土沢 IC を利用することが多く、非常に便利になった。

③ 例幣使街道の杉並木保全推進

現道(例幣使街道)から板橋バイパスに交通量が転換したことにより、例幣使街道の交通量が減少したことから、杉並木の生育に影響を与える排気ガスの減少と振動の低減が図られ、杉並木の保全推進に寄与している。

また、例幣使街道の一部区間を車両通行止めにすることが可能になるなど、杉並木の保全をより一層推進することができる。

【例幣使街道の交通量(台/12h)】



※各年度の道路交通センサス 12 時間観測値

※黄色は、うち大型車台数

4. 事業による環境の変化

特になし

5. 社会経済情勢の変化

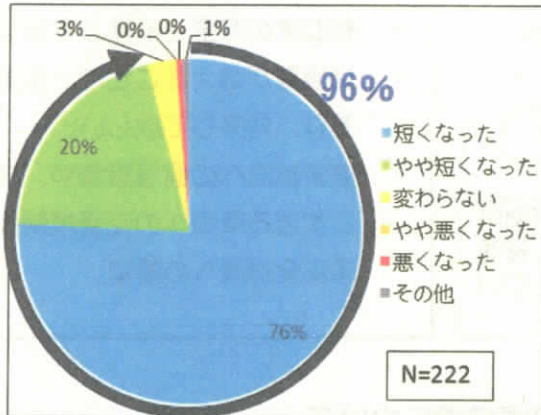
特になし

## 6. 地元や利用者の声（アンケート結果）

国道121号板橋バイパスの整備効果を検証するため、地域住民や学校等へのアンケート調査を実施しました。

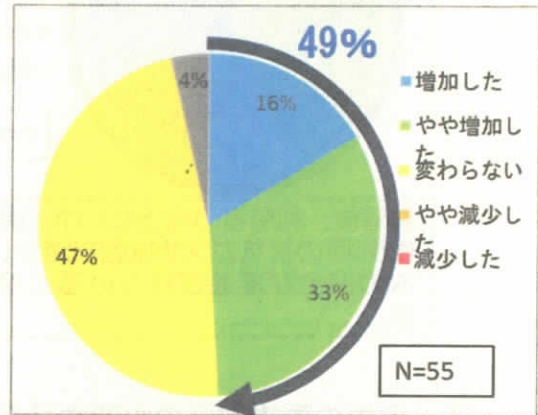
（回答数 227 件 / 配布数 338 件：回収率 67% ※有効回答数は設問により異なります。）

(1) 地域間の移動時間について



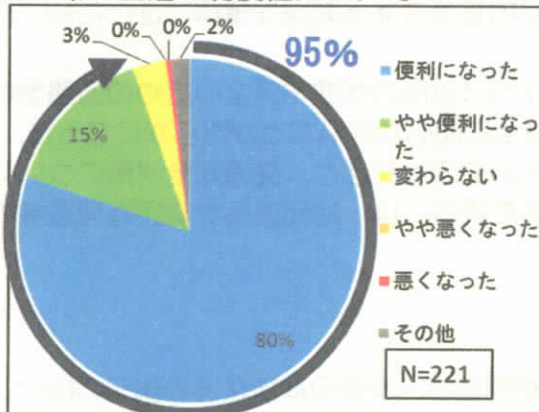
整備後、利用者の約 96%が、他の地域への移動時間が短くなったと感じている。

(2) 店舗や観光施設への来客数について



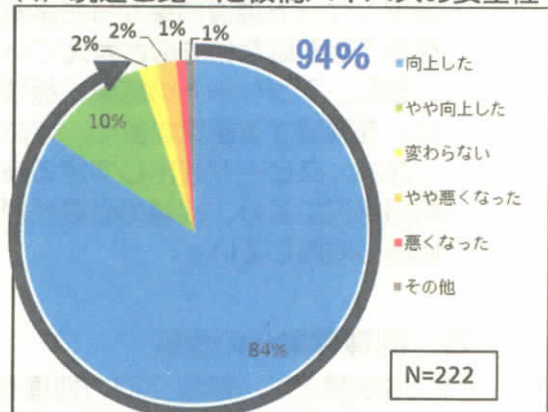
整備後、店舗や観光施設に従事する人の約 49%が、来客数が増加したと感じている。

(3) 日常の生活の利便性について



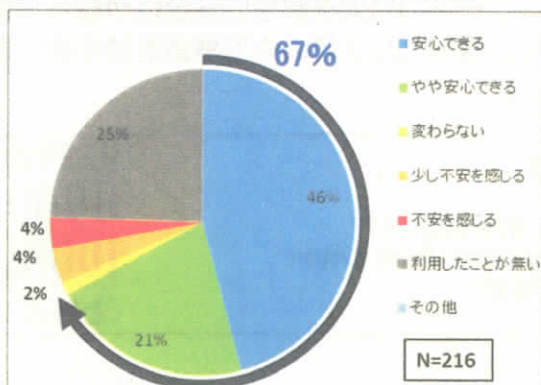
整備後、利用者の約 95%が、買い物や通院等の日常生活時の移動が便利になったと感じている。

(4) 現道と比べた板橋バイパスの安全性



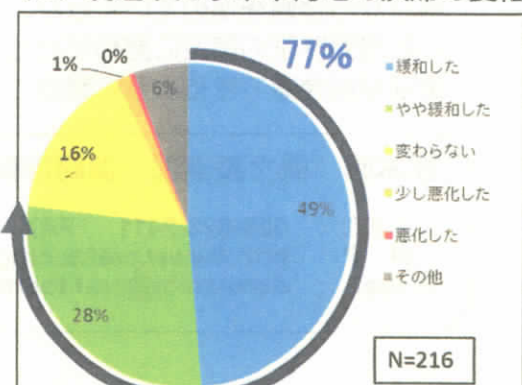
整備後、利用者の約 94%が、現道(例幣使街道)と比べ、板橋バイパスは安全性が向上したと感じている。

(5) 歩行・自転車で利用時の安心感



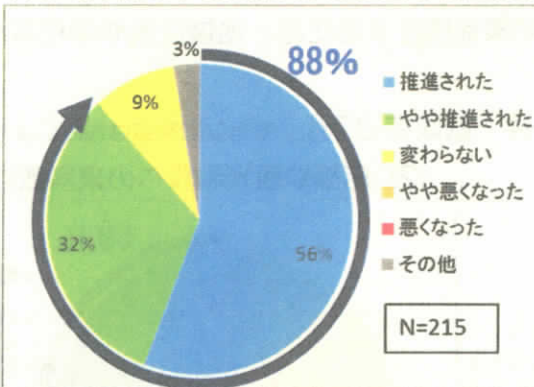
整備後に歩行者や自転車で板橋バイパスを通行する際、約 67%が安心して通行できるようになったと感じている。

(6) 現道や旧今市市街地の渋滞の変化



整備後、利用者の約 77%が、現道(例幣使街道)や旧今市市街地の渋滞が緩和したと感じている。

### (7) 排気ガス・振動からの杉並木保全推進



整備後、利用者の約88%が、現道(例幣使街道)の排気ガスや振動が減少し、杉並木の保全が推進されていると感じている。

### (8) 自由意見(意見の多かった内容等)

- 安全で便利になった、混雑が解消した、など評価する意見。
- 板橋バイパス以南の杉並木保全のための道路整備・バイパス化を推進して欲しい。
- 杉並木の保全を推進して欲しい。
- 交通量が増えたことで、渋滞する箇所があり、対策して欲しい。
- 横断歩道への信号設置や、スピードを出しすぎる車両への交通規制強化など、交通安全対策への要望。

## 7. 今後の事後評価の必要性及び改善措置について

板橋バイパスの整備は、整備前と整備後において交通量や移動時間、交通事故件数等を比較したことにより、①広域的な交流や地域連携の強化、②安全で円滑な交通の確保、③例幣使街道の杉並木の保全推進に寄与していることが確認できた。また地元や道路利用者のアンケート調査結果からも事業の目的を達成する効果を確認できたため、再度事後評価を行う必要はないものと考えている。

また、アンケートの結果、板橋バイパス以南の杉並木保全のための道路整備(バイパス化)を要望する意見が多く、杉並木保全に関心が高いことが明らかになった。

なお、スピードを出しすぎる車両への交通規制など、交通安全対策については、今後の利用状況により、改善の必要性が生じた場合には、地元住民や交通管理者等の関係機関と協議し対応していく。

## 8. 同種事業への反映

本事業では、毎年2回の地権者会を開催し、事業の進捗状況の説明のほか、地域からの声を聞き取るなどの情報交換を図ったほか、土沢大橋完成時には新橋名の表彰式や地域の子供たちが床版に将来の夢を描いてもらうイベントを開催するなど、地域との連携や交流を深め、整備を進めてきた。

今後も同種事業を実施する際には、地元との連携や交流を深めつつ道路整備への理解を得ながら整備を進めていくほか、アンケートの結果を参考に安全性や自然・景観にも配慮した道路計画の策定に努めるとともに、限られた予算の中で事業を効率的に進め、事業効果を早期発揮できるように努めていく。

栃木県 県土整備部 道路整備課

TEL : 028-623-2411 FAX : 028-623-2417  
HP : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h04/index.html>  
E-mail : [doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp](mailto:doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp)

VERY  
GOOD  
LOCAL  
とちぎ